

# REPORT

# WFNN12th Quadrennial Congress





公益社団法人愛知県看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 教育課程主任教員 **齊藤 泉** 

2017年9月17~21日までの5日間、クロアチアのオパティアで、第12回世界脳神経看護学会が「Neuro Science Clinical Excellence」というテーマで開催されました。日本からは 7 名が発表したので報告します。

WFNN(World Federation Neuroscience Nurses)とは、世界脳神経看護連盟を意味します。 WFNN の世界大会は 4 年ごとに開催され、世界中の脳神経看護にかかわる看護師が一堂に会し、脳神経看護の知見を口演発表・ポスターセッション・教育講演などで共有します。

じつは、この WFNN は 1973年に日本で創立され、第 1 回大会は東京で開催されました。その後、 2013年に岐阜県にて第 11 回大会が開催されました。第 12 回大会の開催地であるクロアチアのオパティアは、首都ザグレブからバスで約 2 時間のところにあります。夏場はバカンスで賑わう高級リゾート地で、たいへん風光明媚なところでした。

今回の最大のトピックスは、ジョアンヌ・V・ヒッキー先生による講演でした。ヒッキー先生は、テキサス大学健康科学センター・ヒューストン校の教授で、脳神経看護のバイブルといわれる 『The Clinical Practice of Neurological and Neurosurgical Nursing』\*\*の著者です。

今回のクロアチア大会から、Mitue Ishiyama leadership award が設定されました。第 11 回



アのシンボルのかもと

製にはアドリア海が広がる

★ヒッキー先生(向かって右から3人目)と前WFNN 会長ヴァージニア氏(同2人目)とともに。

WFNN 大会の大会長・前日本脳神経看護学会理事長の石山光枝さんに敬意を表し設定された賞です。今回は、クロアチア脳神経看護学会(CNAN)の理事長が受賞しました。

次回は、4 年後の 2021 年にオーストラリアのノー ザンテリトリー州の州都ダーウィンで行われる予定です。皆さまの参加をお待ちしています。



※「脳神経外科臨床看護マネジメント」ジョアンヌ・V・ヒッキー著、片山容一ほか監訳、2003年メディカ出版発行(絶版)。

76 (1212) BRAIN NURSING 2017 vol.33 no.12

REPORT

WFNN12th Quadrennial Congress に参加して

### 今回のテーマは「Neuroscience Clinical Excellence」で、日本からは7題の発表がありました。

#### 【口頭発表】(敬称略)

[Effect of integrated nursing and therapy program on cerebrovascular disorder patient]

- 宇佐見希子

『Literature Review; Complex Feelings of Patients with Acute Aphasia』 —— 大久保暢子

## 【ポスター発表】(敬称略)

[Care with multiple sensory input including auditory, visual, and tactile senses for patients with cerebral infarction with, left hemi spatial neglect who showed improvement in nine days.]

今澤由理恵

『Correspondence to make children's medical treatment run smoothly in the neurosurgical emergency word employing the procedure known as Preparation』 内田 都『Safely rising from the bed by establishing individual sitting time using the 24-h blood pressure index of acute-phase stroke patients』 齊藤 泉『"I don't need a glass arm." Focusing on decreased joint range of motion in acute phase stroke patients』 南川貴子『Report on the Syllabus for Stroke Rehabilitation Certified Registered Nurses in Japan』

## Voice

日本のメンバー総勢 11 人で参加したクロアチア。うわさどおり美男美女の国でした。また、人々は親切で治安も良く、街並みも風情があり、イタリア料理を基本としたおいしい食事とワインを堪能し、観光地としても人気があることを納得できた学会参加でした。

中日(なかび)には世界遺産のプリトヴィツェ湖群国立公園に行き、リフレッシュできました。口演発表、ポスターセッションも皆さん堂々として素晴らしかったです。 公益社団法人岐阜県看護協会 石山光枝

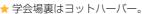


Voice

私は失語症患者の気持ちを探索した研究を発表しましたが、アメリカ、イギリス、デンマークのナースから質問と助言をいただき、次の研究に向けて大きな示唆を得ることができました。また今回の学会では、日本人の参加が多かったため、各国の参加者への影響も強く、日本の脳神経看護をアピールできたように思います。次回もたくさんの日本の脳神経ナースとともに参加したいと思います。

聖路加国際大学大学院看護学研究科 大久保暢子







BRAIN NURSING 2017 vol.33 no.12 (1213) 77